

<学習到達目標>

【知識・技能】	学習内容を理解し、観察・実験の基本的な技能を身につけることができる。
【思考・判断・表現】	課題を見つけ、見通しを持って活動し、分析、表現することができる。
【主体的に学習に取り組む態度】	理科に関心を持ち、主体的に学習に取り組むことができる。

月	学習のねらい・内容	月	学習のねらい・内容
4	<p>◆序章 自然の中にあふれる生命 9時間 校庭や学校周辺の生物の観察を行い、いろいろな生物がさまざまな場所で生活していることを理解する。観察器具の操作、観察記録のしかたなどの技能を身につける。いろいろな生物を共通点や相違点をもとにして分類できることを理解し、分類のしかたの基礎を身につける。</p>	11	<p>【光・音・力による現象】 24時間+1</p> <p>◆1章 光による現象 9時間 光が水やガラスなどの物質の境界面で反射、屈折するときの規則性を見いだす。また、凸レンズのはたらきについての実験を行い、物体の位置と像の位置および像の大きさや向きを見いだす。</p>
5	<p>【いろいろな生物とその共通点】 18時間+1</p> <p>◆1章 植物の特徴と分類 8時間 身近な植物の観察を行い、その観察記録などをもとづいて、共通点や相違点があることを見いだして、植物の体の基本的なつくりを理解する。また、その共通点や相違点にもとづいて植物が分類できることを見いだして理解する。</p>	12	<p>◆2章 音による現象 5時間 音の発生や、音の伝わり方を理解する。音の大きさや高さは音源の振動のしかたに関係することを見いだす。</p> <p>◆3章 力による現象 10時間 物体に力がはたらくとどうなるのか、力の表し方を理解する。また、2力のつり合いの実験を行い、1つの物体にはたらく2力がつり合う条件を見いだして理解する。</p>
6	<p>◆2章 動物の特徴と分類 10時間 動物に、共通点や相違点があることを見いだして、動物の体の基本的なつくりを理解する。また、その共通点や相違点にもとづいて動物が分類できることを見いだして理解する。</p>	1	<p>【生きている地球】 22時間+2</p> <p>◆1章 身近な大地 4時間 身近な地形などの観察を通して、大地の成り立ちなどを理解する。観察器具の基本的な扱い方などを身につける。</p>
7	<p>【身のまわりの物質】 26時間+2</p> <p>◆1章 いろいろな物質とその性質 8時間 物質の性質を調べる実験を行い、物質には密度や加熱したときの変化など固有の性質と共通の性質があることを理解する。ガスバーナーや電子てんびんなどの実験器具の操作、記録のしかたなどの技能を身につける。</p>	2	<p>◆2章 ゆれる大地 4時間 地震計の記録から地震のゆれの特徴を理解し、記録の分析により地震のゆれの伝わり方の規則性を見いだす。また、地震の原因などをプレートの動きと関連づけて理解する。</p>
8	<p>◆2章 いろいろな気体とその性質 5時間 気体を発生させてその性質を調べる実験を行い、気体の種類による特性を理解するとともに、気体を発生させる方法や捕集法などの技能を身につける。</p>	3	<p>◆3章 火をふく大地 7時間 地層のでき方や化石について、観察を通して理解する。 さまざまな火山の活動のようすとマグマの性質の関係を考察するとともに、マグマからできる火成岩の特徴を、成因と関連づけて理解する。</p>
9	<p>◆3章 水溶液の性質 6時間 物質が水に溶ける際の水溶液の均一性を、粒子のモデルで理解する。また、水溶液から溶質を取り出す実験を行い、その結果を溶解度と関連づけて理解する。</p>		<p>◆4章 語る大地 7時間 地層の重なり方や広がり方の規則性を捉え、構成する岩石や化石をもとに、地層が堆積した時代や当時の環境を推測することを通じて、地層のでき方を理解する。また、プレートと火山活動や地震などとの関連を総合的に捉え、大地からの恵みや災害について理解する。</p>
10	<p>◆4章 物質のすがたとその変化 7時間 状態変化と物質の体積、質量の関係を理解する。また、物質の融点や沸点を境に状態が変化することを知るとともに、混合物を加熱する実験を行い、物質の分離ができることを見いだして理解する。</p>		

評価資料	【知識・技能】	テスト	実験・観察レポート	実験・観察の様子	発表
	【思考・判断・表現】	テスト	実験・観察レポート	学習の様子	発表
	【主体的に学習に取り組む態度】	テスト	実験・観察レポート	学習態度	発表